

第 1 1 回 積雪寒冷地における道路舗装の長寿命化と

予防保全に関する検討委員会

議事概要

■ 第 1 1 回検討会：令和 7 年 1 0 月 2 0 日（月）

【議 題】

- ・ 耐久性の高い舗装を設計・施工する技術について
- ・ 効率的な点検・診断技術について
- ・ 効果的な補修技術について

【議事概要】

- 事務局より今年度を実施している現場実証技術の状況と今後の予定、舗装点検における A I 活用の試行計画、常温合材の客観的評価方法について報告し、質疑応答を行った。議事内容は以下の通りである。

◇ 耐久性の高い舗装を設計・施工する技術について

- 北海道型 SMA 舗装の高耐久化技術として、水平振動ローラは寒冷期の施工、狭小部の施工など非常に効果を発揮するのではないかと考える。
- 高耐久舗装の実現には、材料品質だけでなく施工方法そのものも留意することが必要になってくると思う。
- 今年度を実施している現場実証技術の調査結果は、過年度現場実証技術の追跡調査結果とあわせて、次回の委員会で報告したい。

◇ 効率的な点検・診断技術について

- 令和 7 年度、北海道では A I を活用した点検を約 4 0 0 km で試行中。引き続き合致率を検証していく。

◇ 効果的な補修技術について

- 常温合材の評価項目として、「低温カンタブロ試験（5℃）」を設けることで、積雪寒冷地の条件に適した性能を評価できる可能性が高いことが確認された。

以上